

(特非) いきものいんく

一般助成

1年目

実践

地域一体型環境教育 「西胆振 野生児育成プロジェクト」 の実施



「野生児キャンプ」川でサカナ学習の様子

イベントの延べ
参加者数 338人

環境教育展
「いきものいんく写真展」
来場者数 208人

活動の全体目標に
対する達成度 40%

課題

環境破壊の要因として「子どもの自然離れ」が考えられる。環境や野生動物、それらのつながりによって生かされていることを実感する機会が少ないことが大きな課題である。

活動内容

- 北海道西胆振地域の小、中学校9校にて、年間157時間の授業を実施した。
- 子どもたちが、自然の中でおもいっきり自由に遊び、かつ、生きものどうしの「つながり」や外来生物問題、ロードキル(野生動物の交通事故)、野生動物へのエサやり問題など、人間の活動が引き起こす環境問題について学ぶ日帰り行事や1泊2日のキャンプを多数実施した。



いきものいんく写真展
-野生動物×子どもたち-

今後の課題

学校や教育関係団体、地域のさまざまな自然環境系団体との連携をさらに強め、教育プログラムのバリエーションに幅を持たせ、他地域への発信、他地域からの受け入れも実施する必要があると感じる。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・当法人主催行事に参加した子どものうち68%が、自然環境に対する興味や、判断力に変化があったと回答した。(保護者からの回答結果も含む)
- ・3件の修学旅行を受け入れ、環境教育を実施した。

工夫

該当市町の教育委員会ご協力のものと、全行事のチラシを学校を通して配布し、地域児童全員に渡るようにした。